



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス  
 コード番号 3058 URL <https://ir.sanyodo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長 (氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	17,249	3.9	268	117.2	279	65.8	340	91.4
2025年3月期	16,605	△4.0	123	46.6	168	23.7	177	—

(注) 包括利益 2026年3月期 223百万円 (10.9%) 2025年3月期 201百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	46.74	—	11.6	2.2	1.6
2025年3月期	24.41	—	6.5	1.4	0.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	12,575	3,044	24.2	417.79
2025年3月期	12,410	2,820	22.7	387.26

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,042百万円 2025年3月期 2,820百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	29	△61	131	2,514
2025年3月期	41	△137	64	2,415

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00	—	4.9	—

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	1.5	200	△25.5	200	△28.5	150	△55.9	20.59

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期	7,400,000株	2025年3月期	7,400,000株
2026年3月期	116,606株	2025年3月期	116,606株
2026年3月期	7,283,394株	2025年3月期	7,283,394株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(注) 1株当たり当期純利益 (連結) の算定の基礎となる株式数については、添付資料13ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,948	△0.2	102	38.5	140	27.9	215	64.8
2025年3月期	1,952	△2.7	74	9.4	110	△21.8	130	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	29.55	—
2025年3月期	17.93	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	6,589	2,864	43.5	393.25
2025年3月期	6,304	2,746	43.6	377.07

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,864百万円 2025年3月期 2,746百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。また、当社グループは、2026年5月29日 (金) にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用や所得環境の改善が進む一方で、地政学的リスクの長期化、国際情勢の変化、為替変動、金利・物価の上昇などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受ける一方で、物価上昇に伴う生活防衛意識の定着や循環型社会への関心の高まりを背景に、リユース市場は堅調に推移しております。このような経営環境のもと、当社グループは新本と古本を併売するハイブリッド型書店を核として、顧客ニーズにあわせて様々な販売・サービス部門を展開するとともに、スマート無人営業やスマートフォン活用サービスを提供する「スマート・ブックバラエティストア」業態の展開を進めております。

当連結会計年度においては、3月に駿河屋及びトレカ館からなる四日市店（三重県四日市市）を開店する一方で2店舗を閉店したことから、当連結会計年度末時点での店舗数は、67店舗2校となりました。

また、7月に中古ホビーを扱う駿河屋津白塚店（三重県津市）をオープンしました。これらの出店の結果、駿河屋導入店舗は7店舗、トレカ館導入店舗は26店舗となりました。プラモデル売場については新たに10店舗を導入し、プラモデル導入店舗は45店舗となりました。

オペレーション面では、顔認証入店による「スマート無人営業」の導入を推進しました。「スマート無人営業」を含む24時間営業を2店舗で、自動閉店や自動開店による営業時間延長を16店舗で開始し、スマート無人営業店舗は32店舗となりました。また、スマート無人営業導入店24店舗にて、有人営業時間の一部を無人営業時間に置き換えました。

主要な部門の売上高は、書店部門85億78百万円、トレカ部門25億76百万円、文具・雑貨・食品部門17億73百万円、駿河屋部門11億28百万円、古本部門5億10百万円、セルAV部門4億66百万円、TVゲーム部門3億89百万円、レンタル部門7億31百万円、新規事業部門7億29百万円、サービス販売部門3億62百万円となりました。

増収部門としては、トレカ部門が26.6%増、文具・雑貨・食品部門が15.4%増、駿河屋部門が80.7%増、TVゲーム部門が2.8%増、新規事業部門が8.9%増、サービス販売部門が10.4%増となりました。

減収部門としては、書店部門が5.7%減、古本部門が3.9%減、セルAV部門が18.6%減、レンタル部門が11.0%減となりました。

なお、当連結会計年度より、従来「新規事業部門」に含めておりました駿河屋売上について、業績の管理区分をより明確にするため、「駿河屋部門」として独立表示しており、当連結会計年度の比較及び分析は、変更後の区分に基づいております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高172億49百万円（前連結会計年度比3.9%増）、営業利益2億68百万円（同117.2%増）、経常利益2億79百万円（同65.8%増）となり、投資有価証券売却益1億82百万円を計上したことや、一部の店舗で減損損失50百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は3億40百万円（同91.4%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は125億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億65百万円増加いたしました。これは、売掛金や商品の増加などにより流動資産が2億88百万円増加し、投資有価証券の売却などにより固定資産が1億23百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては95億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは、買掛金が減少したことなどにより流動負債が62百万円減少し、繰延税金負債の増加などにより固定負債が3百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては30億44百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益3億40百万円の計上などにより前連結会計年度末に比べ2億23百万円増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首時点に比べ98百万円増加し、当連結会計年度末には25億14百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は29百万円（前連結会計年度は41百万円の獲得）となりました。これは主に売上債権の増加が1億1百万円、仕入債務の減少が2億34百万円、棚卸資産の増加が96百万円あった一方で、税金等調整前当期純利益4億12百万円、減価償却費1億70百万円及び減損損失50百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は61百万円（前連結会計年度は1億37百万円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入2億4百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出が2億71百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1億31百万円（前連結会計年度は64百万円の獲得）となりました。これは長期借入金の返済による支出が5億68百万円あった一方で、短期借入金の純増加額が1億円、長期借入れによる収入が6億円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	22.9	20.1	21.0	22.7	24.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	50.3	48.1	42.2	40.0	39.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	7.8	65.1	98.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	19.7	2.0	1.0

(注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上している負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上している「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。
4. 2022年3月期及び2023年3月期については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオを記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループが関わる、書籍・雑誌やDVD・CDなどの販売・レンタル市場は、電子書籍・映像音楽配信サービスの拡大、ネット通販やスマートフォン閲覧などの影響により、リアル店舗の販売比率は長期にわたり減少する一方、物価上昇に伴う生活防衛意識の定着や循環型社会への関心の高まりを背景に、リユース市場は堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは顧客のニーズの変化にあわせて、リユース事業であるトレカ部門や駿河屋部門の拡大を推進し、今期トレカ部門は部門別売上高第2位、駿河屋部門は第4位となるなど、いずれも大きく成長しております。また、スマート無人営業店舗の拡大も、既存事業の増収に寄与しております。これらの部門の成長により、既存部門の減収を補い、当社グループ全体として増収を確保いたしました。今後も引き続きトレカ部門や駿河屋部門の拡大を推進するとともに、新規事業の開発・導入の取り組みを進めてまいります。

運営面では、引き続きスマート無人営業の導入を推進するとともに、有人時間帯を見直し、運営効率の向上を図ってまいります。

また、セルフ受取やセルフ取置をはじめとする店舗のスマートサービスの認知向上を図るとともに、SNSや自社Webサイトを活用したWebマーケティングにも引き続き注力してまいります。

次期の見通しにつきましては、トレカ館と駿河屋の売上高の伸長を予想しておりますが、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しいことから、売上高175億円、営業利益2億円、経常利益2億円、親会社株主に帰属する当期純利益1億50百万円と見込んでおります。なお、見通しに変更が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、長期的な事業の拡大と経営基盤の確立を目指し、キャッシュ・フローを重視したローコスト経営を推進することで収益力の向上に努めるとともに、今後の事業展開に備えて財務体質の強化を図りながら、株主の皆様への利益還元を行うことを基本方針としております。

当社は、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当を行う旨を定款に定めており、剰余金の配当等の決定機関は、中間配当、期末配当ともに取締役会であります。

当連結会計年度におきましては、既存部門の減収をトレカや駿河屋、プラモデルなどの成長商材・成長フォーマットの売上伸長により補い、当社グループ全体では増収となりました。一方で、既存事業の市場縮小や人件費の高騰が続く状況を踏まえ、当期の配当につきましては、成長事業の拡大や無人営業などによる生産性向上のための設備投資資金の確保を優先することが長期的な株主利益に資するとの判断から、無配を継続することといたしました。

内部留保資金につきましては、引き続き事業展開のための設備投資等に活用してまいります。

また、次期の配当につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益が2期連続で黒字となったこと、さらに第50期(2027年3月期)も黒字を見込んでいることから、第50期の配当は1株当たり年間1円とする予定であります。配当水準につきましては、株主への利益還元を重視する姿勢を示しつつ、既存事業の市場縮小が継続する厳しい経営環境のもと、資金流出を抑制し、成長事業の拡大や無人営業等による生産性向上に向けた設備投資資金の確保を優先することが、長期的な株主利益に資するものと判断したものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,365,078	2,429,486
売掛金	467,014	568,322
商品	5,436,907	5,534,409
その他	205,199	230,217
流動資産合計	8,474,200	8,762,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,756,056	5,676,116
減価償却累計額	△5,438,050	△5,387,122
建物及び構築物 (純額)	318,005	288,993
土地	2,082,910	2,165,958
建設仮勘定	6,545	35,817
その他	2,787,408	2,807,959
減価償却累計額	△2,637,249	△2,643,321
その他 (純額)	150,159	164,638
有形固定資産合計	2,557,620	2,655,407
無形固定資産	86,245	79,987
投資その他の資産		
投資有価証券	340,043	169,560
差入保証金	900,469	882,725
退職給付に係る資産	12,415	1,487
その他	39,028	23,450
投資その他の資産合計	1,291,957	1,077,224
固定資産合計	3,935,823	3,812,619
資産合計	12,410,023	12,575,055
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,192,097	4,903,484
電子記録債務	139,067	193,419
短期借入金	190,000	290,000
1年内返済予定の長期借入金	516,410	582,264
未払法人税等	9,107	8,225
契約負債	37,236	34,400
賞与引当金	41,976	45,636
ポイント引当金	10,163	6,778
資産除去債務	15,450	2,544
その他	374,086	396,789
流動負債合計	6,525,595	6,463,544
固定負債		
長期借入金	2,022,264	1,987,516
退職給付に係る負債	252,651	262,213
資産除去債務	632,416	641,183
繰延税金負債	31,090	42,379
その他	125,133	133,639
固定負債合計	3,063,556	3,066,931
負債合計	9,589,151	9,530,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,441,421	2,441,421
利益剰余金	158,327	498,733
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	2,599,229	2,939,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175,075	77,675
退職給付に係る調整累計額	46,262	25,589
その他の包括利益累計額合計	221,338	103,264
非支配株主持分	303	1,680
純資産合計	2,820,871	3,044,579
負債純資産合計	12,410,023	12,575,055

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	16,605,085	17,249,386
売上原価	11,263,268	11,606,229
売上総利益	5,341,816	5,643,156
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	△2,404	1,028
給料及び手当	2,055,977	2,144,977
賞与引当金繰入額	41,976	45,636
退職給付費用	5,861	7,138
減価償却費	189,945	168,773
地代家賃	975,440	961,639
その他	1,951,387	2,045,414
販売費及び一般管理費合計	5,218,185	5,374,608
営業利益	123,631	268,548
営業外収益		
受取利息	963	1,775
受取配当金	8,213	3,758
受取賃貸料	8,480	9,365
受取保険金	11,511	2,303
受取弁済金	7,158	2,582
リサイクル収入	12,816	10,633
その他	18,033	19,180
営業外収益合計	67,177	49,600
営業外費用		
支払利息	21,044	28,303
解約違約金	—	8,400
その他	1,105	1,726
営業外費用合計	22,150	38,430
経常利益	168,659	279,718
特別利益		
固定資産売却益	400	1,516
投資有価証券売却益	2,166	182,445
受取補償金	8,031	—
特別利益合計	10,597	183,961
特別損失		
固定資産除却損	3,612	71
減損損失	50,312	50,919
特別損失合計	53,924	50,991
税金等調整前当期純利益	125,332	412,688
法人税、住民税及び事業税	9,133	8,980
法人税等調整額	△61,925	61,925
法人税等合計	△52,792	70,905
当期純利益	178,124	341,782
非支配株主に帰属する当期純利益	303	1,376
親会社株主に帰属する当期純利益	177,821	340,406

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	178,124	341,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,151	△97,400
退職給付に係る調整額	△14,503	△20,673
その他の包括利益合計	23,648	△118,074
包括利益	201,772	223,708
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	201,469	222,331
非支配株主に係る包括利益	303	1,376

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,025,163	△603,235	△100,520	2,421,407
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			177,821		177,821
欠損填補		△583,741	583,741		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△583,741	761,562	—	177,821
当期末残高	100,000	2,441,421	158,327	△100,520	2,599,229

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	136,924	60,766	197,690	—	2,619,098
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					177,821
欠損填補					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	38,151	△14,503	23,648	303	23,951
当期変動額合計	38,151	△14,503	23,648	303	201,772
当期末残高	175,075	46,262	221,338	303	2,820,871

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,441,421	158,327	△100,520	2,599,229
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			340,406		340,406
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	340,406	—	340,406
当期末残高	100,000	2,441,421	498,733	△100,520	2,939,635

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	175,075	46,262	221,338	303	2,820,871
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					340,406
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△97,400	△20,673	△118,074	1,376	△116,697
当期変動額合計	△97,400	△20,673	△118,074	1,376	223,708
当期末残高	77,675	25,589	103,264	1,680	3,044,579

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	125,332	412,688
減価償却費	191,173	170,010
減損損失	50,312	50,919
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△7,737	△3,385
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,891	7,936
受取利息及び受取配当金	△9,176	△5,533
支払利息	21,044	28,303
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,166	△182,445
固定資産売却損益 (△は益)	△400	△1,516
固定資産除却損	3,612	71
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,788	△101,308
棚卸資産の増減額 (△は増加)	47,551	△96,660
仕入債務の増減額 (△は減少)	△291,784	△234,260
契約負債の増減額 (△は減少)	△8,373	△2,835
その他	△7,778	19,027
小計	63,928	61,013
利息及び配当金の受取額	8,450	4,912
利息の支払額	△20,708	△28,302
法人税等の支払額	△9,773	△8,591
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>41,897</b>	<b>29,032</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△127,691	△271,554
有形固定資産の売却による収入	400	1,516
無形固定資産の取得による支出	△5,520	△15,131
投資有価証券の売却による収入	2,224	204,890
差入保証金の差入による支出	△14,723	△10,278
差入保証金の回収による収入	53,418	28,706
その他	△45,498	558
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△137,390</b>	<b>△61,291</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100,000
長期借入れによる収入	550,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△485,130	△568,894
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>64,870</b>	<b>131,106</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,623	98,846
現金及び現金同等物の期首残高	2,446,486	2,415,863
現金及び現金同等物の期末残高	2,415,863	2,514,709

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高について、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高はなく、該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高について、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高はなく、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	387.26円	417.79円
1株当たり当期純利益	24.41円	46.74円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	2,820,871	3,044,579
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	303	1,680
(うち非支配株主持分 (千円))	(303)	(1,680)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	2,820,567	3,042,899
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	7,283	7,283

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	177,821	340,406
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益 (千円)	177,821	340,406
期中平均株式数 (千株)	7,283	7,283

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ② その他の役員の変動

新任取締役候補

取締役 渡邊 由美子 (現 社外監査役)

新任監査役候補

(非常勤) 監査役 奥村 加代子

(注) 奥村氏は、社外監査役の候補者であります。

退任予定取締役

取締役 亀割 卓

退任予定監査役

(非常勤) 監査役 渡邊 由美子

(注) 渡邊氏は、社外監査役であります。

###### ③ 就任及び退任予定日

2026年6月23日